

1号側、2号側意見を踏まえた検証項目と関連調査内容

附帯意見の内容	検証項目	1号、2号意見	1号	2号	調査概要	具体的調査(案)	1号、2号調査項目
1 再診料や外来管理加算、入院基本料等	もの・技術の分離	1-1- 、1-2-			外保連試案 で、人件費からの技術料、必要な器具、材料等のコストが出されるので、それを元に 技術評価分科会 中心で議論を行う。	【内容】手術ごとに医師(歯科医師)の人件費等から算出した技術コスト、使用器具等の必要物品コスト。	1-2-1、
	コストの根拠の明確化	1-2- 、			現行のコスト調査分科会 の調査内容を元に、コスト調査分科会でコスト内容の詳細を検証。	【内容】コスト調査分科会で収集した元データの再集計。	1-2-2、
	初再診、外来管理加算、地域貢献加算	1-1-			検証部会調査(22年) で外来管理加算、地域貢献加算の効果について調査。	【対象】病院・診療所・患者 【内容】外来管理加算:施設側の算定状況や要件見直しに伴う変化や本加算についての評価等、及び患者側の診療の印象等 地域貢献加算:施設側の算定状況や実際の時間外対応の実態等、及び患者側の認知度や実際の利用実績等	1-1-1、1-1-6、1-2-5、
	入院基本料、特定入院料	1-1- 、1-2- 、13-2- 、			検証部会(22年、23年) で救急入院に関する特定入院料、回復期リハ病棟入院料の状況(21年に亜急性期についてもやっている)を調査。	【対象】病院・診療所・患者 【内容】施設側の救急医療実施体制や後方機関との連携状況等、及び患者側の入院中・退院後の状況等。	1-1-3、1-1-4、1-1-5、
	複数科受診	1-2-			社会医療診療行為別調査、施設基準等の届出状況調査 で各種加算の算定状況を調査。	【対象】全病院 【内容】初・再診、外来管理加算、地域貢献加算の算定状況。地域貢献加算についての施設の届出状況。	1-1-2、
					受療行動調査 で現状を把握。 社会医療診療行為別調査(22年度調査) で、他医療機関受診の状況。 日病協 の調査	【対象】全病院 【内容】同一医療機関で複数科を受診している人の割合。 -	1-2-4、
2 慢性期入院医療	慢性期入院医療のあり方、機能、入院基本料	2-1- 、2-2-			「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」 等で、一般病床・療養・障害・介護の横断的調査を行い、患者実態、療養病棟入院基本料再編の影響、有床診療所(療養)について調査し、 慢性期分科会 中心に議論。	【調査対象】 医療施設等(保険局調査):一般病棟(13対1・15対1)、医療療養病棟、障害者施設、特殊疾患病棟、在宅 介護保険施設(老健局調査):介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設 【内容】 入院・入所の理由、現在の状態(医療区分、ADL区分、要介護度)、医療の提供状況、今後の見通し等	2-1-1、2-1-2(療養病床のみ)、2-1-3、2-2-1、
	認知症患者の評価	2-2-			医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査 で、一般病床・療養・障害・介護の横断的調査を行い、認知症患者の分布状況、 検証部会(23年) で、認知症患者の状況(精神科)を調査、慢性期分科会中心に議論。 日病協 の調査	慢性期横断調査等 【対象】病院 【内容】一般病床・療養病床・障害施設等の患者実態調査(認知症の状態等)、レセプト調査(診療報酬の請求内容等)。 検証部会(23年度) 【対象】病院 【内容】精神科における認知症患者の入院実態。 -	2-2-2、

	附帯意見の内容	検証項目	1号、2号意見	1号 2号	調査概要	具体的調査(案)	1号、2号調査項目
3	NICU、小児救急、後方病床	22年改定の影響			検証部会(23年)で周産期医療に関する状況を調査。	【対象】病院 【内容】改定の影響や後方機関との連携状況等。	
4	勤務医の負担軽減	勤務医の負担軽減	4-1- 、4-2-		検証部会(23年)で、医療事務作業補助者の配置状況、医師の負担軽減効果、医師の処遇改善状況、チーム医療による医師の負担軽減効果、診療所医師と病院勤務医師の協力体制について調査。	【対象】病院 【内容】医療事務作業補助者の配置実態、医師の負担軽減効果、医師の処遇改善状況、チーム医療による医師の負担軽減効果、診療所医師と病院勤務医師の協力体制の実態、手術料の引き上げ等の収入アップと医師の負担軽減効果の関係等	4-1-1、4-1-2、4-2-2、
		ドクターフィー	4-1- 、4-2- 、		内保連の調査を元に技術評価部会で議論	—	
		技術評価のあり方(内科)	4-2- 、4-2- 、4-2-		日本歯科医学会による「 歯科医療技術に係るタイムスタディー調査 」における歯科医療技術の難易度、重要度(頻度)、所要時間等に関する調査や、「 社会医療診療行為別調査 」における 歯科医療技術の算定状況の調査等 を参考して、 技術評価分科会 を中心に議論。また、 日本歯科医学会 による「 歯科病院および病院における歯科の役割と採算性の調査 」における 歯科入院医療の実態、人員配置および収支上の課題、医科歯科連携状況等 に関する調査を参考として、必要に応じて 基本問題小委員会 において 病院歯科における歯科医療の評価の在り方等 について議論。	(日本歯科医学会)「 歯科医療技術に係るタイムスタディー調査 」 【対象】 歯科大学病院、歯科診療所 【内容】 歯科医療技術の難易度、重要度(頻度)、所要時間等	4-2-3、
		技術評価のあり方(歯科)			(日本歯科医学会)「 歯科病院および病院歯科における歯科の役割と採算性の調査 」 【対象】 歯科大学病院、病院歯科 【内容】 可能な範囲内で、歯科入院医療の実態、病院歯科の人員、収支上の課題、医科歯科連携状況等 を把握		
5	救急医療機関の勤務医の負担軽減	医療機関の適正受診の促進方策	5-2-		保険局保険課調査にて保険者へのアンケートを予定。	【対象】各保険者 【内容】各保険者における適正受診の促進に関する取組の有無及びその内容	5-2-1、
6	看護職員の勤務実態	看護師の定着・確保	6-1- 、6-2- 、6-2-		検証部会(23年)で、看護職員及び看護補助職員の配置状況によって、勤務実態の変化等について調査。	【対象】チーム医療もしくは病院勤務医の負担軽減の検証の対象医療機関 【内容】看護職員、補助者の配置状況(24時間の配置状況)、残業時間、看護内容、離職率の変化等の把握	6-1-1、6-2-1、
					社会医療診療行為別調査で、急性期看護補助体制加算、看護補助加算について調査。	【対象】全医療機関 【内容】病院機能、届出区分等ごと急性期看護補助体制加算、看護補助加算の算定状況	6-1-2、
					施設基準等の届出状況調査で、入院料(届出区分等)別の看護職員及び看護補助者の勤務実態(夜勤の状況、受け持ち患者数、月平均夜勤時間)、特別入院基本料、7対1、10対1特別入院基本料算定状況及び当該入院料算定医療機関の看護職員の確保対策等を調査。 以上の調査の結果を参考に、H22改定での看護職員の勤務状態への影響やH24改定の課題等について議論	【対象】全医療機関 【内容】看護職員及び看護補助者の勤務実態(夜勤の状況、受け持ち患者数、月平均夜勤時間)、平均在院日数、看護必要度の基準に該当する者の割合、看護職員の採用活動状況	6-1-1、6-2-1、
	72時間ルール	6-2-		施設基準等の届出状況調査で、入院料(届出区分等)別の看護職員及び看護補助者の勤務実態(夜勤の状況、受け持ち患者数、月平均夜勤時間)、特別入院基本料、7対1、10対1特別入院基本料算定状況及び当該入院料算定医療機関の看護職員の確保対策等を調査。	【対象】全医療機関 【内容】看護職員及び看護補助者の勤務実態(夜勤の状況、受け持ち患者数、月平均夜勤時間)、平均在院日数、看護必要度の基準に該当する者の割合、看護職員の採用活動状況	6-2-2、	
				検証部会(23年)で、看護職員及び看護補助職員の配置状況によって、勤務実態の変化等について調査。 以上の調査の結果を参考に、月平均夜勤時間の設定のあり方について議論	【対象】チーム医療もしくは病院勤務医の負担軽減の検証の対象医療機関 【内容】看護職員、補助者の配置状況(24時間の配置状況)、残業時間、看護内容、離職率の変化等の把握		

	附帯意見の内容	検証項目	1号、2号意見	1号 2号	調査概要	具体的調査(案)	1号、2号調査項目
7	チーム医療評価	薬剤師の病棟配置	7-2-		基本問題小委員会(23年)にて、薬剤師の病棟配置の実態等について調査。薬剤師を始めリハビリテーション関係職種、診療放射線技師、臨床検査技師及び管理栄養士の病棟配置や病棟業務に係る実態を調査し情報を収集する。当該情報を踏まえて、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討。	[対象]病院 [方法]アンケート調査及び文献調査 [内容]薬歴に基づく処方監査と情報共有化、ハイリスク薬の取り扱い業務手順、病棟に薬剤師が常駐する場合のメリット、服薬支援、手術室・集中治療室等における医薬品の適正な管理への貢献、感染制御チーム・褥瘡対策チーム・緩和ケアチーム・栄養サポートチーム等への参加状況等	7-2-1、
		多職種チーム(歯科)	7-2-		日本歯科医学会による「脳卒中および頭頸部疾患等における歯科医療の関わりの実態について調査」における脳卒中及び頭頸部疾患等の患者に対する歯科医師・歯科衛生士の活用状況、術後口腔ケアの実施状況、口腔機能回復へ対応状況、医科歯科連携の状況等に関する調査を参考として、必要に応じて基本問題小委員会において、脳卒中および頭頸部疾患等に対する歯科医学的アプローチの評価の在り	[対象]歯科大学病院、病院歯科 [方法]アンケート調査及び文献調査 [内容]脳卒中及び頭頸部疾患等の患者に対する歯科医師・歯科衛生士の活用状況、術後口腔ケアの実施状況、口腔機能回復へ対応状況、医科歯科連携の状況等	7-2-2、
8	訪問看護	訪問看護ステーションの意義、医療・介護の役割、	8-2-、8-2-、8-2-		社会医療診療行為別調査にて、医療機関からの訪問看護の実態を、介護サービス施設・事業所調査にて、訪問看護ステーションにおける介護保険・医療保険各保険別訪問看護の実態を、訪問看護療養費明細書実態調査にて、訪問看護ステーションにおける医療保険の訪問看護の実態を調査する。また、23年検証部会調査において、介護サービス施設・事業所調査の結果を2次医療圏ごとに集計し、訪問看護サービス体系について議論。	社会医療診療行為別調査 [対象]訪問看護を行っている全医療機関 [調査内容]在宅患者訪問看護・指導料等医療機関からの訪問看護に関する項目の算定状況、 介護サービス施設・事業所調査 [対象]訪問看護ステーション [調査内容]加算の算定状況、サテライトの有無、訪問看護の利用者数、複数訪問看護ステーションの利用状況、訪問時間、看護の提供内容 訪問看護療養費明細書実態調査 [対象]訪問看護明細書(抽出率1/2) [調査内容]主病名、基本療養費算定状況、管理療養費算定状況、死亡時の状況等	8-2-1、
10	DPC	係数関係	10-1-、10-2-、10-2-		DPC評価分科会にて、調査・検討。	各係数の元となる指数の経年変化 その他未定(DPC評価分科会の議論待)	10-1-1、10-2-1、
		高額薬剤の取り扱い	10-2-		DPC評価分科会にて、調査・検討。	未定(DPC評価分科会の議論待)	
11	介護報酬との関連事項	診療報酬/介護報酬体系	11-1-、11-2-、11-2-		検証部会調査(23年)において、医療・介護についての地域における連携の在り方についての検証	[対象]医療機関その他 [内容] ・医療機関と介護施設等の連携状況 ・医療保険と介護保険の給付対象に関する事項 ・在宅医療・看護サービスの実態	11-1-1、11-1-2、11-2-1、11-2-2、
		IT、日本版RHIO	11-2-				
		リハ	11-2-		検証部会(23年)で、回復期リハ病棟入院料の状況(21年に亜急性期についても行っている)を調査。	[対象]病院 [内容]施設側の救急医療実施体制や後方機関との連携状況等、及び患者側の入院中・退院後の状況等。	
		口腔管理	11-2-		検証部会調査(23年)による「在宅歯科医療及び障害者歯科医療の実施状況調査」における在宅歯科医療の実施状況、在宅歯科医療における患者の疾病状況、治療内容、歯科医療機関と医科医療機関や介護関係機関等の連携状況、在宅歯科医療に係る課題等に関する調査や、「社会医療診療行為別調査」における在宅歯科医療関連項目の算定状況の調査、「施設基準届出状況」における在宅療養支援歯科診療所の届出状況等を参考として、必要に応じて在宅歯科医療の在り方について議論。	検証部会調査「在宅歯科医療及び障害者歯科医療の実施状況調査」 [対象]歯科医療機関 [内容]在宅歯科医療の実施状況、在宅歯科医療における患者の疾病状況、治療内容、歯科医療機関と医科医療機関や介護関係機関等の連携状況、在宅歯科医療に係る課題等(在宅歯科医療関連項目のみ記載)	

	附帯意見の内容	検証項目	1号、2号意見	1号 2号	調査概要	具体的調査(案)	1号、2号調査項目
12	地域特性	地域特性を踏まえた報酬体系	12-1- 、12-2- 、		医政局での各種調査(医師の必要数調査、医師の3師調査等)を利用。	【既存の調査における項目】 ・人口10万対医療施設数(都道府県別) ・推計患者数(都道府県別) ・医療施設数及び病床数(都道府県、市区町村別) ・医療従事者数(診療科別・都道府県別・市区町村別) ・がんの総患者数の年次推移(傷病中分類・都道府県(患者住所地)別) ・糖尿病の総患者数の年次推移(都道府県(患者住所地)別) ・肥満・高脂血・慢性腎不全の総患者数の年次推移(都道府県別) ・精神及び行動の障害の総患者数の年次推移(傷病中分類・都道府県(患者住所地)別) ・高血圧性疾患及び心疾患の総患者数の年次推移(傷病中分類・都道府県(患者所在地)別) ・脳血管疾患の総患者数の年次推移(傷病中分類・都道府県(患者住所地)別) 現在、必要医師数調査を実施しているところ	12-2-1、
13	診療報酬体系の簡素化	名称の平易化	13-2-		検証部会(22年)にて、診療報酬体系に関する患者意識調査、明細書に対する患者ニーズ調査を行う。	【医療機関調査】 【対象】病院・診療所・薬局・訪問看護ステーション・患者 ・明細書の発行状況(発行枚数、費用徴収の有無等) ・明細書発行に係る事務、費用負担の実態(患者からの照会状況、照会への対応体、設備整備等) ・明細書発行に伴う患者への影響(待ち時間の増減等) 等 【患者調査】 ・明細書発行義務化の認知状況 ・明細書の受領状況 ・明細書発行に関する意識(必要性、メリット、不満点等)	13-2-1、15-2-1、
15	明細書	明細書の意義、改善、	15-2-				
14	適切な請求方法	レセプト様式の見直し	14-1- 、				
16	後発医薬品、	後発医薬品について	16-1- 、		検証部会(22年、23年)にて、後発医薬品の処方、調剤の状況の調査 平成24年度までに後発医薬品の数量シェアを30%以上にすると政府目標の実現に向け、医療機関・薬局等に対して後発医薬品の使用状況等を調査する。 調査結果等を踏まえ、後発医薬品の更なる使用促進策を議論。	【対象】保険薬局、患者、病院、医師、診療所 【内容】保険薬局における後発医薬品の調剤状況の変化の把握、医療機関における後発医薬品の使用状況や医師の処方に関する意識等の把握、患者における後発医薬品に関する意識の把握 (具体的には、後発医薬品の調剤率・変更率、後発医薬品使用体制加算の算定状況、患者が後発医薬品の使用を希望しない理由、後発医薬品の使用経験・意向、ジェネリック医薬品希望カードの所持率・利用率、後発医薬品に変更しない理由、後発医薬品の採用基準等)	